

R7. 11. 11 岩船中学校・神林中学校統合推進委員会（第4回）

日時：令和7年11月11日（火）19:00～20:50 神林中学校 研修室

参集者：PTA保護者4名・学校運営協議会2名・中学校校長、教頭4名・区長4名・教育委員1名 合計15名

欠席者：PTA保護者2名

（開会）

（委員長挨拶）

（議事）

（1）統合中学校の校名について

委員長 では本日の議題に入ります。議題（1）統合中学校の校名についてということで、事務局から説明をお願いいたします。

市教委 それでは校名の件で、先月の第3回の委員会の中で、公募で校名の候補89件あったということで、示させていただいたところです。その会議の中で公募したんだから、選ぶのはリストの中から校名を選ぶこと、また、委員会の中で絞り込んでいった校名を修正することもありえるだろうと話しました。それで観点を設けて、皆さんから観点の中で自分が思った候補を選んでもらうというような、その観点で、誰でもわかりやすいものとか、読みに無理のないものとか、地域などでよく分かるものなど、アイデアがあったわけですが、この辺り、4つの観点を設定し、1つ目が岩船・神林の校名をそのままにする。また、2つ目が岩船と神林を合わせるどちらかの文字が入るといった校名候補、3つ目が地域のイメージになるもの。4つ目が新しい学校を作るイメージになるキーワード。それぞれ理由をつけて、候補選定してもらうというやり方になった訳で、ただ他所の学校統合の影響を受けることは無い様にしよう。一中とか東中学校という名称に引きずられることなく、この委員会で独自に判断して決めようという前回の会議で話し合いをしたところでございます。委員の皆さんから候補名を募ったところ、まず1つ目の既存の校名を単独で使用したものについては、岩船中学校を上げるものもお二方ございました。地域の歴史ある名称だと受け取りもでございます。神林中学校を挙げている方も、5人おられました。神林地区にある学校である。保護者アンケートをした。それから2つ目の両校の名称を合わせたものとしては、岩船神林中が7人ございました。シンプルでわかりやすいというふうな理由がありました。1文字ずつとった岩神中というもの3人の方が挙げておられました。岩船神林中学校7人あった中で、一人の方の理由として略称をつけるなら岩神中にすればいいのでは、そういったご意見もございました。それから3つ目の地域イメージを表したものについては、穂波中学校これ6人になりました。村上穂波中学校も一人の方がおられました。地域のイメージとして神林の稲穂、岩船の海の波といったところでございます。余談ではありますが、九日市にある道の駅穂波の里という名称ですので、リンクできて面白いかな。食堂も穂菜味停というものもでございます。この辺りリンク出来たら面白いというのがございます。あと4の新しいキーワードにつきましては、ひらがな書きの「いわふね」、「ひかり」「かがやき」「つばき」といったこういった容易に読める名称が挙げられております。あと海と星を合わせた海星中学校を挙げる方もおられましたけれども、新しい学校のイメージとして挙げられておりましたけれども、この海星の海と星につきましては、同じものが地域をイメージした候補のところにも挙げておりましたので、海星中を推す方も何人かおられました。説明は以上です。

委員長　　まだ、たくさん案もあるところですが、協議して絞り込んでいきたいと思いますが、絞り込み方を含めてですね、皆様の思いも含めてですけれども、委員の皆さんからご意見を聞かせていただければと思います。

委員長　　事務局の方で絞り方について何か案があれば、お話していただこうかと思います。

市教委　　事務局の方では、これを見ていて思っていたこと何点かございますので、お話しさせていただきたいと思いますが、まず1つ目の既存の校名を使うという場合ですけれども、このたび統合の方式として新設統合になるわけですので、既存の学校名を使用するという場合、絶対的な理由が必要なのかなと心配しました。岩船中学校としても神林中学校にしても、このたびの統合が新設統合とすると、絶対的な理由が必要なかなと思いますので、協議していただければいいかなと思いました。両方の名称を合わせたパターンとしては、岩船神林中学校、これを軸にご協議いただければいいかなと思いました。それから3の地域イメージとしては、穂波中学校これに絞っていいかなと思いました。新しいキーワードにつきましては、選考結果を見ますと、ちょっとまとめるのが難しいと思ったところです。既存の学校名を使う理由については、絶対的な理由をつけないといけないのかなと。両方合わせたものとしては、岩船神林中学校という名称を軸に、地域イメージとしては穂波中学校なのかなというふうなことで、これに絞って協議いただけると良いのかなと思いました。事務局から以上です。

委員長　　皆様にはこの視点でご意見をお伺いしたいと思いますのですが、どうでしょうか？

推進委員　　校名の選定のスケジューリング的な部分を、それから今回の中学校名の委員選定となっていますが、13名ですが、全員のご意見なのか。スケジュールというのは、校名を決めることによって校歌・校章なりの結論があったので、このスケジュール準備日程を見ると、令和8年5月に決定になっています。それまで延ばすのか。

市教委　　校名決定については、年内に決定したいと考えております。決定した後に議会の議決を得たいと思っておりますので、その議会の議決で決定したのち、校歌の作成に進んでいきたいと思っております。校歌については、新年度の令和8年度4月以降に着手しようと思っておりますので、それまでの議会で議決をいただきたいなど思っております。今のところ校名の選定については年内に決めたいなど思っているところです。13名の方から、回答が得られているところですが、4名の方は、回答が無い方は学校の校長先生や教頭先生方かと思えます。

推進委員　　スケジュールの確認ができたので、個人的な意見から言えば、旧校名をまずつけない状態であれば、個人的になるかもしれないけど、穂波の方が無難ではないかと思えます。合体した岩船神林中学校も、アンケートで出たけど、旧校名にこだわらずっていうのであれば、穂波中学校というのは個人的には良いのかなと思えます。

推進委員　　令和8年から校歌の作成ですけど、岩船中学校の校歌は存じてるんですけど、神林の校歌は、聞いたことがないので、それ、何か聞くところによると神林の校歌はいいよって話を聞いたりしたもので、個人的なもので、ちょっとこだわるわけではないですけど、例えば今後校舎が神林の校歌で、もし神林の校歌ではいいねってなれば、校名はそのままなんていうかな、岩船中学校。個人的には思ったんですけどさ。

推進委員 確かに私も今おっしゃいました通り、前の委員会で校歌の話を言われた方が、ありましたけど、それはそれ、これはこれで、新設するのであれば。

推進委員 これは私の意見です。

推進委員 新設をするのであれば、いろんな経緯があるかもしれないね。いい校歌だって言ったんだけどそれはそれでいいので。どうせ言い方悪いけど、新設でやるのであれば、まっさらにしてやった方が皆さん理解を得られるんじゃないかな。

推進委員 4つ出てますけど、まずそこは岩船中学校にするか神林中学校にするか、これは新設統合するために、これが適正なのかどうかっていうのは、とりあえず何か聞いて、いろんな意見があると思いますけれど、最初に既存の校名を使うというのは本当に新設の場合、いいのかどうか。新設で、ちゃんとした理由がなければ、既存の校名は難しいのかなと思うんですけどいかがでしょうか。

委員長 他に意見のある方いますか。

副委員長 名前決めるのを私はさんざん悩んだんですけど、最後の名前を背負うのは誰か考えてると子供たちがやっぱり何々中学校とそれが10年後にも、中学校の名前をずっと背負ってるわけですね、10年という形で責任という話になると、多分誰もいない状態であってなった時にこの付ける名前は大事じゃないかと思うんですね。最終的には子供たちにも、どういう名前でもうなったよという形で、何候補か出して、それが自分たちの中学校の名前として体操着とかに付くっていうところも、ここで最終的に全部決めるんじゃなくて、小学校の該当する子供たち全員は難しいでしょうけど、そういう子供達にも落として、どんな名前の中学校がいいっていうところを選ばせてあげるような形で、この候補を決めてもらいたいかなと思うんですね。なんで岩船神納だとか、平林小学校の子供たちもいるから、そこも配慮したような名前も入れてあげても、いいんじゃないかとは思うんですね。私の方の意見としては、子供たちが付ける中学校体操着の名前を、最後はその子供達の最終意見をもらった上で、こういう形でいいんだね。地域としてこういうことでいいんだね。皆様にも、そういう方向で進めてもらいたいかなっていうのが、私も任期が半年あるかどうかですけど、やって欲しいかなと思いますので、ここで無理やり私が駄々こねて既得権で中学校の名前つけて、それをつけて中学生の子供たち、惨めじゃないですか。何かそこまで子供たちのこと考えてあげて、君たちの意見も聞きたいと君たちが背負うんだからっていうようなことも、話が全然違うと思いますけど。それは今回言わせてもらいたかったなっていうところだったので、なのでここである程度候補、なぜこうなったかって大人の理由をどんどん子供達に落としてあげてどう思うって。地域っていう考え方じゃなくて、平等っていう考え方で見てもらうようなやり方をしてもらいたいと思うんですね。以上です。

委員長 幾つかの候補3つか4つを子供に意見を聞くというご意見ありましたけども、それについて何かご意見ある方いらっしゃいますでしょうか。

推進委員 確かにおっしゃる通り役員で決めたからという上から下では、上手くない話だと思います。前もなんかそういう意見もあったよね。ここでいきなり決め込んで下ろすだけでいいのか、確かに今ある程度絞り込んだ経緯をわかりやすく子供達に説明した中でね、もう少し意向調査をして、それをやるのであれば、みんなの意見と理解を得られるのでは、無いかなと思うし、我々で決めてしまって決まったものだからというのばかばかしい話で、我々だけの持ってる話では説明できない。時間

的には間に合わない可能性も出てくるけど、でもやっぱり大事にしなくてはならないと思うし、あとは事務局の方でどれだけタイムスケジュールコントロールできるか。今日もある程度案を決めていただく中で、それをある程度の子供たちに落とし込むというスケジュールを組んでもらって、それを回収して最終的にこれだということみんなの総意だとなれば、意見を言われんじやないかというふうに思います。

委員長 スケジュール的にはどうでしょう。議会の上程が例えば2月議会が次の3月ですとちょうど12月末議案上程だと思うんですけど、そこがもし遅れて6月議会になったとしても、何か支障がありますか。アンケートが12月末までにまとまるのであれば1月の委員会で決められれば、議会の上程2月議会に間に合いますか。

市教委 議案は1月末ぐらいが締め切りなんです。そこまでに、答えが出ればと思います。

委員長 例えば12月中にアンケートで1月も含める予定だと1月27日になりますけど、1週間ぐらいに委員会を開催して、可能ですか。

市教委 可能だと思います。また、tetoruで保護者に流して、前回のようにWebで回収であれば集計も早いので、スケジュール的にも1月末までに間に合うと思います。

委員長 委員会からの1月末からその一週間で1月20日までにまとまって、1月27日の委員会で決まれば、間に合うと思いますけど委員の皆さんの中で、ご意見あれば、いかがでしょうか。

推進委員 今回の、大事な話なんだなと思って聞かせてもらってましたが、子供たちが実際に背負う校名ですので、それは大事な中身ですので、決めるときに、じゃあお前たち決めろというふうな感じで、例えば学校で子供たちに話したときに、バーンとぶん投げただけで、いいのかどうかということなんです。要するに、そのままや多数決とるからねと言ってやった場合に、みんな神林中或いは神林地区の子供たちに聞くんであればいいんですよ。岩船の子達にもきちっと聞かなきゃいけないんですよ。同じ一票しか持ってないですよ。そうすれば、当然結果的に集まってくるのは、岩中と神中の名前、どっちが良いと言った時に、神中になります。それでいいかどうかです。

副委員長 そこで、私はそれも悩んだんですけど、結局ね、私もそこで子供たちに落とすので言いたいのは、先ほど委員さんがおっしゃった通り、岩船・神林で昔からの名前を求めているのか、いやいや、新しい中学校で例を挙げると穂波というその新しい名前の方に子供たちは、その気分一新で動きたいのかというところまで汲めるわけなんですね。だから、仮に神林中学校がいいんだって言い方じゃなくて、岩船神林、神林岩船どっちでもいいですよ。

推進委員 大人であればその辺は比べようがあるのでね、考えますけど、子供の例えば小学生に聞くわけですよ。

副委員長 ただ実際答えるのは、親ではないのか。結局親もそこは納得して、名前を…

推進委員 その名前は子供たちが結構考えてる名前でも結構ありましたね。一生懸命頑張ってる、だから170も集まったわけですよ。それを我々が今集約してますんで。プロセス的には、その辺を踏んできてますよってことは説明できると思います。それをま

た最終的にお前達が決めてとお前達の責任だぜと投げるのがいいことなのかどうかっていう話

委員長 副委員長は、投げるとまでは言っていないです。

推進委員 言い方は悪いんですけども、最終的にそういう形になってしまうんですね。だから、その場合に

推進委員 そういう話の仕方ではなくてね、神林とか岩船とかっていう、例えばその昔の中学校の名前は新設であれば、使えないような状況でございますというような、ちゃんと説明した中でね。校名の中で、委員会としては、こういうふうな案が出ましたよと。これに対して、もし良いような名前があったら、アンケートに答えてくださいという形のね。やんわりしたやり方で、だから新設合併であればまるっきり昔の名前は使えないわけだから昔の名前は中学校を使えないので、昔の名前でも通った例えばいわゆる岩船神林中学校とかにもこだわらなくて、できれば新しい中学校の名前を考えてもらいたい。この委員会の希望を添えればいいのでは、どうせ親が読む訳だから、それだけなんだから、あんまり言ってもダメなんだよ。

副委員長 全然私は気にしないんですけど

推進委員 ごめんなさい。結局なんか差し戻した感じなんになってしまうのが、逆に怖いなど思ってます

副委員長 それもわかっています。ただ、そんな簡単なものなんですかっていう話ですね、我々はその中学校の名前を決める権利があるわけじゃなくて、どういう名前にしていかかって方向性で、集まっただけじゃないですか。だから中学校の名前なんて私がさっき言った通り、わがままで名前を付けさせてもらって、それで皆さん良いと言ってってくれていって、そんなのをつけてる子供たちは嫌ですよ。何でこういう名前になったんだと経緯も自分たちもよくわかった上で、岩船神林の伝統の名前も字を入れて欲しいっていう経緯なのか、いやいや、もうサラッとして平等で、この地域として名前にして欲しいっていうのは、もう1回問えるのかなと思ったんですよ。だからもう差し戻すっていうわけでも何でもなくて、自分たちの背負うべき中学校の名前なんだから、そこは自分たちが何でこれにしたかって言ったのかも、選ばせてあげてもいいんじゃないかと思えますね。私はそれを言いたいですね、じゃあ10年後この名前嫌だった。あのメンバー全員集めろと責任取れといつたってできないんだから、その選んだ今回の議論は、例なんですけど、6年生から4年生かわかんないけど、その対象の先輩や地域の先輩方がどういう意味でこういう名前にしたんだろうっていうのも、伝統として引き継いでいけるんじゃないかと思ったんですよ。なので私はそういう、もう1回子供たちにどういう何々中っていうの、どうして欲しいっていうのを、決めるわけじゃないです。もう1回ふるいにかけてもらいたかって思っただけですね。

推進委員 いずれにしる、ここで決めるのであれば、その理由が大事ですよ。例えば、穂波であれば、何で穂波にしたんだろうっていうことを子供たちが納得できる理由をここできちっとみんな考えて、10年20年後の、そういう意味での校名なんだから大事にしなきゃというような形にしたいなと思っているんですよ。ですから、そういう意味では、4つ5つ候補をあれして、あなた方に選んでねっていうふうにした場合に、きちっとした理由になるのかどうか、その辺が、ここできちっとその理由を考えることの方が大事なような気がしてたんですよ。どうなんでしょうか。

推進委員　まあ、ここで一つに決めてどうでしょうかという案もあるのだけれど、逆にここで3つぐらいあったものを理由付けして、選ばせてもらいました。案としては3つありますけど、いかがでしょうかということでの、アンケートなんでしょう。だから中学生は全部読めるかもしれないけど、小学生はやっぱり親が相談を受けながら、丁寧なコメントをつけてやれば、こういうふうな形の名前が決まりましたけど、皆さんいかがでしょうかというふうなやさしい言い方でね、回収した方が良いのではないかな。ここで決まったからどうだという言い方じゃ駄目だし、やっぱり皆さん平等だと言えば、委員会は委員会だし丁寧に該当する子供達に早めに段取りして、早めに回収して、次の会議には、このような名前の方が多かったですよってなれば、皆さんの総意の中で校名が決まる訳です。そういう訳で委員会に報告してくれば良い訳じゃないですか。

副委員長　逆に私はそういうふうに思って、皆さんどう思いますか、私はこれを決める時も、岩船・神林の名前を子供たちも重く見てるのかなっていうのはわからないわけですね。子供じゃないかってその中学校ですし、体操着を着るわけでもない。だからその何々中っていうのをどういうふうにとらえているのかなっていう知りたいだけなんです。なので、今委員がおっしゃってくださった通り、岩船神林中という名前とその公募で実施した穂波中。みんなどう思うっていうので投げかけてですね、いやいやせっかく神林さん、神納さん、平林さんと一緒になるから、もう昔の俺ら世代のためになってもいいと。新しい方に向けてこうっていう考えの子供たちの方が多いいのか。いや、やっぱり親はこの地域に対して育ったその学校の名前1字ぐらい残していこうっていう考え方なのか。それは今その体操着を着る子供たちに選ばせてあげてもいいんじゃないかとは思うんですよね。この候補の中からどれがいいなっていう乱暴なことを言ってるわけではないのでね。

市教委　この会議でいくつかのパターンで3つか4つ絞って、アンケートを取る意味合いですかね。

副委員長　今回これやったのはまさにそういうことだったんじゃないのかなと私も思ったんです。その中でそのイメージだとかっていったところは、うまく使ってなかったのは落とすというそのアンケート数を見てもわかる通り、やっぱりその昔の名前を残そうっていうやり方の方向性もそうですけど。新しい名前ということで、その2つの方向性は我々が決めるけど、最後どっちの伝統の名前を取るのか、新しいものに行きたいのかっていうのは、子供たちにやはり声をかけるべきじゃないかなと思います。

委員長　確認ですけど、データは、公開しないですよ。だから、皆さんも出したデータが、どれだけ集まったか結果的に分からないわけですよ。

推進委員　さっきのアンケートの中で、旧名は新設であれば使えないというふうな話も出たから、父兄も読むのであれば、その辺も付けてやってね。例えば岩船中学校がいいというような言い方はできませんよ。極端な言い方で悪いけど、そういう話を聞かれてくるから、そういう理由からこういうふうな3つの案になりましたというふうなことを、やっぱり父兄も読むのだから、欄外でもいいからコメントすればそれでやっぱりアンケートにしてやった方がいいのかな、なんで昔の名前が出てこないのかといわれるかもしれません。

副委員長　そういう昔の名前だったんだと、このアンケートがあるように、岩神中学校なやっぱり一字、皆さん説得し残して欲しいんだっていうことを我々が汲んで・・・

推進委員　だからそれをやると逆にもともとこういった神納中学校のまま残そうだと逆に岩船中学校のまま残すことはできませんけど、いや、いじって、岩神中とかそれは別だよ。岩船神林中学校もまた別だか、それは別としてもね、昔のままの名前の中学校では、できませんってことね。これ説明する必要があるのではないかな。

推進委員　そういうことなんです。そういうことで私はかなり真剣に考えればいかなど思ってる中で、今も1つ新設なので、今まである校名はできないみたいな話も1つ疑問なのと、新設であって、場所が変わっても新設になるだろうし、いろいろな面でキャラにしてやるのが新設ですよ。だから、校名も一旦キャラにするけども、神林になってもいいし岩船になってもいいわけですよ。それなりの理由が立てば、皆さんがそういう理由で納得してもらえばね。そういう前提のもとで、私はいきなり今日ここで、岩船・神林はもうカットにするべきだっていうふうな話にはならないんじゃないか。それともう1つ委員が、おっしゃったように、家庭として子供のことも考えて、そういうことをやらなきゃならないとなれば私は、それはそれでいいと思うんですけども。さっき委員がおっしゃったように、子供たちに自分らの責任を投げかけてそっちに選ばせるみたいなやり方は、やっぱり大人としてうまくないんじゃないかな。家庭としていろいろお話聞いたりね、こういうふうなところで今こうなってるよと話をし、ある程度子供たちの話も、何となく、こんなふうにして聞いたりするのは、大いに結構だと思うんですよ。アンケートというやり方もあるかもしれないし、その中で子供たちもそんなことを言っていたその親もこんなことを言っていたというふうなことを参考にしながら、ここでまた、もう少しこうまた絞っていくっていうようなことが必要んじゃないかなと言うふうに見えるんですよ。

副委員長　それですと、合併する時期はなんだって話あったけど、守秘義務っておっしゃいましたよね。

推進委員　この辺でスケジュールがね、決まってるんで、なかなかそんなふうで、やりとりもできないかもしれないけども、そういう過程が大事だっていうのであれば、それは賛成ですから、そうするとスケジュールになっていくかもわからないけど・・・

推進委員　そもそも、新設の場合は、名前の付け方で旧校名は駄目とかもいいとかっていう、その辺でちょっと調べてもらってね。

市教委　旧校名が、ダメだとは言っていないんですが、絶対的な理由が必要だという

推進委員　理由づけとして何かこういう決まりとか何かあるかな。

市教委　地域の方々がどう受けとめるかということなので。

推進委員　その辺の根拠がしっかりしないと、そうではないかとの話ではうまくないわけだから、こうなんだとかっていうような根拠があればいいけど、根拠がないとか、また振り出しに戻ってしまうわけだ。

推進委員　その中で根拠を言わないと思うんだけど、理由としてね。私は、まず岩船だということもあるからそう見られてもしょうがないんですけども、岩船っていう地名は、歴史的にずっともう1000何百年大化の改新の頃から岩船というこの辺の地名があって、それがなくなるのは非常に寂しいし、できれば残したいなど。そしてそれはなぜかというこの辺にもこう書いてある、私の方も書いてあるけども、ずっとそういう流れで、この地域の中心的地名として岩船郡っていうふうの流れに地名

に引き継がれてきた。そういうふうなことで、神林は、昭和の合併で、神納村西と東神納村もあったのかな。そこに平林が一緒になって、神林村っていう、私が生まれた頃、70年ぐらい前の歴史の名前わけですよね。だから歴史だけ行われるわけではないけどもそういうふうで作ってきた、何かしらが私は心の糧になってるのかなということで、これからの子供たちが今神林で10年過ごした或いはその前からずっと神納村でいいたとかっていうことであるかもしれないけども、もう少しこう幅広く見れば、岩船っていうところの、歴史的に裏付けられたようなところに自分はいたんだと言うんだっていうようなことで卒業してからも、何となく、アイデンティティと言うか、そのようなものが長い目で見れば生まれてくるんじゃないかなと思って私は第一にその岩船を押して、それでも、そういうのは新設にちょっとうまくないねっていうふうな話で、なれば一文字をまぜるっていうのもあるんでしょうけども、まず私はその子供たちに岩船というこの辺はこういう歴史があつてこうなんだというふうなところから、話をして、なるほどと思ってもらえればしょうがないけどね。そういうふうなことに仕向けていくのが私は70年間生きてきた中で、ちょっとそういうふうなことをやっぱり子供たちに伝えて学べないかなっていう感じなんです。

副委員長 個人的にはそれは、地域活動としてやっていただければいいので、私ここに岩船中学校PTA会長としてますけど、岩船で育って中学校も卒業しますけど、ここに立ってる以上、私それ全部置いてきてますよ。ちなみに一番上のこのイメージのこの一番上、私です。おそらくこれくらい中立でない駄目だよっていう位置付けでいるんですね。ただどうしても区長さんがやっぱ地域守らなきゃいけない立場というのはよくわかってます。なので私は子供たちに、新しい名前伝統とか文化わかりますけど、新しい1歩を踏むっていうことを選びたいのか、それともやっぱその地域っていうのを自分たちが学校を通して勉強してきた、せめて一字は入れたいよ、名前を入れたいよっていうのかを、問いたいですね、それを我々がお金もらってその責任があるからって言って決めていいんだっていうのは乱暴だと思いますよね。そこも含めて子供たちの名前なんだから、中学校でやっぱ嫌だったら来年変えます総会で変えますよ。できないんだったら、そこも含めて、丁寧に子供たちにもそこは聞くべきじゃないかと思うんですよね。

推進委員 我々が決めていたっていうことではなくて、それだけの責任を持ってやる以上は、自分は本気でこういうふうことをまず述べてみたいと思ったから述べさせてもらったんですよ。皆さんもそれぞれの思いがあるんでしょうから、そういう中で絞り込んで、最終的に子供たちにもある程度考えさせようという、今みたいにこんなふうに侃々諤々やって、このぐらいに絞り込んできたと、皆さんだったらどんなことを考えるとかですね、そういうふうなことを参考にしながらやるのであれば、私はアンケートも良いとあったけれども。

副委員長 これもなんかちょっと勘違いしてたんですけど、そういう意味でいうと、神林地地区さんの方から何かそういった、伝統とか。

推進委員 そういうことを言うと昔に戻ってしまう。自分の地域の方ばかり主張すれば意味ない。それは、みんな歴史があるわけだからさ、お互い様だよ。だから自分のことばかり主張したってだめです。とりあえず個人の感想にこういう仕事だからだめよ。ここで言うならば、もうまたリセットのせつかくいいところまできたのに

推進委員 いや、皆さんがそういうんであれば私はあれですけども、すいません。

委員長 皆さん多分個人的な思いも言っていたいて、この場ですからいいと思うんです

よ。それと何点か出てきた話なんで確認したいな、1点目が新設だから使っちゃいけないっていうのは事務局としての考え方っていうことでよろしいですね。法律的な話ではなくて

市教委 使っちゃいけないんじゃないかと、使うんだったらそれなりの理由が必要だということなので

委員長 最初から消去法で消えるものではなくて、理由がつけばというところだと思うんですね。それは委員の皆さんもそうかもしれないですし、アンケート出したときに理由が出てくるかもしれませんが、多かっただ意見ではあるので、最初から消去法で消していくっていうのは、何か小さくもなければ、乱暴かなっていうことも、何か聞いてて思います。その事務局の考え方として聞いたので、それを間違えたっていうことではなくて、そういう観点が欲しかったので聞かせてもらいました。もし子供たちに聞いたとき、子供たちのアンケートをすぐ決めるっていうわけではなくて、観点を聞きたいっていうことでよろしかったですね。

副委員長 そうですね。

委員長 最終的にでてきた。それを見て、ここでもう1回いろいろ決めるところなので、多数決ということではないというふうには私は理解しているのですが、皆さんの認識がそうであればアンケート出しても、まだまだ丸投げしたことには多分ならないんじゃないかなと思うんですが、この2点ちょっと皆さんに意見をいただきたいです。どうでしょうか。特に禁止される場所がなければ、候補の1つとして聞く分にはいいのかなと思いますがいかがでしょう。

推進委員 アンケートの出し方としては、A案、B案C案、はい、あなたならその校名がいいですかという聞き方ですか。

委員長 それで理由も書かれてないですけど、ここは我々の中でも選んだ候補として提案してる。A案としては、岩船中学校、神林中学校が既存としてこの2つあるわけですから、並べてその既存の校名も可能性もある名前だから、候補の1つです。もう1つが、岩神なんて何かあれですけども・・・

推進委員 でもさ、今私が言わんとしたことは、そこ戻しちゃえば、委員が言われる通り、また初めからでしょ。その全部を戻してしまえば。なぜ、その前からアンケート取りしなかったのって話までさかのぼっちゃうわけじゃないですか。岩船の名前、神林の名前もそこにあるならば

委員長 元々候補のアンケートで出して選んでよかったんですね。なかったわけですね。

推進委員 うん。でも確たる理由がなければとか、まず事務局側のご意見があるとなれば、やはり、ある程度その尊重した中で、皆さんが言われた消去方式だったら案もありなんですけども、要するに何を言いたいかっていうのを下に下ろすとしたということですけども。アンケートとしておろすには案123がなければ、どうしようもないとか、なんていうかな。

委員長 神林・岩船というものがあって、意見もあるわけじゃないですか。皆さんの思いもあるし、神林と岩船というのは既存の中から、それはどうですかっていうのを1つの理由ですよ。2つ目が今出てるのが、1文字ずつ岩船神林が良いか岩神がいいかわからないって、これは、1文字ずつでも両方の名前を使っていきましょうっていう

うところでの理由で、これは第2の候補ですね。第3は穂波。新しいイメージの岩船は海と神林の稲穂イメージにることから、これをつけたということでしょうか。3つ、4つめはこの自由とかやるかどうか。ありますけど例えば3つの中から、子供たちからも意見を聞く、そして選んだときの理由も書いてもらいたいというので、別に決めてるわけじゃなくて、ここまでなんて絞ったものをこうした観点を聞いてもう1回、吸い上げて、子供たちにも聞いた上で我々が最終的に決めるっていうところでどうかということだと思いますけど

推進委員 結構なんですけども。そうしたときに、私は前回の全員の小中学生も含めた、校名リストを拾っていくと、当然岩船だとか神林にこだわることもありますけども、新しい新鮮の名前が多いですよ。多いですので、大人はもうこり固まってるから、そっちの方しか考えてなくて、60代70代になる。それしかないところが14歳8歳なんていうのも、こう広げていくと。もう1つ、チャラにした名前なんです。全く思いもつかないような名前なんです。だから、委員が言ったとおり、皆さんが決めていただいて、そのどっちかと思うんで、ぜひ下ろすことは賛成です。どういう結果が上がってこようが、下ろすことは賛成です。それで、そのためのクッションとしてこの委員会では、私が最初に言った、案123議案、まず、とっつきやすいステージを作ってあげなきゃだめなんじゃないかなあと思いました。これは議長が言った岩船・神林は理由づけとしてありますよっていう案1として、それで、それを合体した岩船神林、神林岩船っていう。合体校名って案でありましたよっていう、3番目で、全体で穂波中っていうのが結構上がってきましたよっていう。要するにそういう題材選べて選ぶ題材を優しくこう、挙げてやって向こうも子供たちも親御さんもやりやすいのではないかな。それを選ぶのが、この場の責任、いわゆる委員が言ったように、責任あるやり方じゃないかなと思いました。

委員長 今の、子供達に下ろすということにご意見としてはあまり反対意見がないという感じますのは、もう1つその意見を吸い上げた多数決ではない理由を見て我々がそれをもって決めるというこの2点をまずよろしいでしょうか。戻すかは、まだ今これから話ししたわけですけども、こうして、まだお聞きしたいところなんですけども、下ろすとういことはまずよろしいでしょうかね。

推進委員 いいですか。どうしてもアンケートが、こないだの校名アンケートの中であれば、一番大きな10何票ぐらいだったかな。なんですけども、今回相当数っていうものが出てくる部分があると思います。まず、私自分の小学校がなくなったっていう、その吸収された形で名前も消えて小川小学校になってるまま吸収されただけになってる立場があるので、そういうところからした時に、やっぱりその数の論理的な部分であるよねとか、面積も、小さいとあってあるよねっていうことも思ったりしているところがある中で、やっぱりある程度収斂して、もしかしたらその過半数になったりしたりした時に、多数決は関係ないからと言いながら、最後のステージに近く中で例えば子供なりその保護者なりが、挙げた意見が多かったのに何で決まらなかったとか、俺ら捨てられたんだと思い、入学することがメリットになるかどうか。今ちょっと心配していたところです。それが例えばその親御さんが決めるんじゃないかっていう話だとすれば、6年生は1年だけ。入った瞬間に卒業生にするんだらう。何で3年生の保護者の考えを聞いてくれとかってなっていくと、また今度広がっていくっていうふうになると、アンケートそのものが広がっていく。岩神って言うけど、神岩はじゃだめなのとか、いや青嶺がいいだらう。また出てきた実施するとまたちょっと收拾つかなくなるリスクはあるのかなっていうところで、数の部分と対象の部分で本当に456年生とした時に本当にそれで正解かなっていうところがあったりしたと。アンケートとることによるデメリットがあるかも知れないです。

副委員長　私もそれは考えました。拮抗したらどうしようって。ただそれを聞いてさっき説明したのですが、着るのは子供たちですね、我々じゃないですね、その名前ぐらいは子供たちに決めさせて、だから背負ってという責任は、至極当然のことじゃないかと思いますね。我々は、変な言い方ですけどその好きな名前をつけて、子供たちがカッコ悪いなあというくらい。なんかちょっとどうなんだろうとは思ったんですね。

推進委員　今後だって全部にならないと、

副委員長　そうそこですよ。

推進委員　心境が出ちゃうんで、そういう小選挙区でそれだけ当選した状態ですよ。

推進委員　そうですね。

副委員長　だから逆に、私の知ってる限りで穂波とかっていう名前をちょっと言ったら、事務局からの説明の通り、道の駅をねというの、子供たちにも浸透はしてるんで、そういう意味で言ったら、こっちで言ったらすぐずと行くのかもしれないと思うんですね。ただ私も先ほどの熱く語られて、私も岩船育ちだけと言いながら、やっぱり、何か岩の字だけでも残して欲しいなっていう思い多少はあるんですね。でもそれは私のエゴでしかない。何々中っていうふうにしたのはやっぱり子供たちから、それは選択させてあげるようなことの方がいいのかな。ただアンケートの怖いのは、まさにそういうことはちょっと覚悟しなきゃいけないかなと思ってます。

推進委員　多数派過半数をとったのに、なおこれ選ばなかったと言われたときに、そのゴールが見えてるだけに、あのアンケートだったのに、こうなったとかってなったら、じゃああれ何だったとかって言われるようなアンケートにしてはいけないのかなっていうことであるとか、そういうことを考えると、例えば6・5・4年生の保護者や子供たちの下の子たちが、いや俺あっちの名前の方がよかったとかって言いながら入学してくるっていうときに、その人たちの所為にしながらその校名を次の時代は背負えばいいのかっていうふうには誰が背負うべきだったときにはやっぱりここが背負うことが私はより適切なのかなという意味でアンケートの取り方とかについて、本当に慎重でなければいけないというか、最終的に本当にあくまでも参考ですとか、多い少ないじゃありません。そうだけれども、そのもう人数も明らかに違うわけで、そこを同じにして一人一人アンケートを取る事態も考えます。やっぱり地元の校名残らなかったとか小川のままだなんて、いまだに言ってる人間なので。

推進委員　アンケートについて皆さん総意なわけですから、不満がでるのも仕方がない。不満でることもあるだろうし、不満出ないことは絶対ないのだから、やっぱり皆さんの意見を聞かれているのであれば、そういう状況の中でも、アンケートやらなければというのは、それはやむを得ないことだ。全部の人が意見で良いということは、絶対ありえないどさ。どっちかにまで我々だってね、岩船中学の組合立で、いったわけですよ。西神納で行かねばならないわけだ。なんでそっち行ったらこれだけまだわかりません。そんなこともあったわけですよ。だから岩船の人には仲良くさせてもらっています。逆に行ったおかげで俺ら仲良くさせてもらえる部分があるわけですよ。そのころ違うのかなと思ったやり方なんですね。だから今のその中学生とか、そこまで深く考えるかなっていうことがあるかもしれないし、もう親もなんだという人もあるかも知れないけど、もう60・70の人は、いっても先が無いので、今の若い人たちに良い名前を付けてもらえればいいかな、だからアンケートに対してみんな○ということは、絶対ないんだからってことで分かってもらえればいいんで

す。全部○といことは絶対ないから。

推進委員 私も基本的には方向性は賛成です。ただやっぱり最後責任をとるのはやっぱりわかる大人だと私は思ってるので、最終的な名前はここで決めなきゃいけないと思います。ただ方向性を聞くのは賛成です。例えば、今話あったように旧校名、例として、神林中学校及び岩船中学校と今の学校をそのまま使うのが1つ、2つ目が神と岩みたいな感じで各学校の1文字ずつを使った組み合わせもそれはその組み合わせを考えるのは我々だと思うんですけども。その一文字を使ったパターンでどうですか2つ、3つ目が、もう本当にもう岩船神林はどちらが先にあるか。それも協議はここでいいと思うんですけど、そのパターンでどうかって4つめが、最初のアンケート取ったいろんなアイデアはありますよね。そこから全く新しいイメージ地域のイメージを表したのものみたいな感じでも、そこを最終的にやっぱ決定も我々が出てきてるものから、もう1個か2個選んでって最終的には我々大人が責任を持って決めなきゃいけないと思うんです。方向性を決めるのは大賛成です。4つかなと思いましたがね。

副委員長 それであれば多分岩船神林っていう選択肢はなくしたほうがいいのかなくて、先ほど

推進委員 名前を出さないで、方向性だけ出してどれがいいと。

委員長 あくまで例です。

推進委員 岩船中学校神林中学校みたいにそのまま使うのが1コース。2コース目が、例えば神岩とか岩神とか1文字どっちかにどっちか1文字を組み合わせるのは我々が決めると。ただそういうふうに一文字ずつ使って決めるのはどうですかっていうのが1つ。3つ目が、もうそのまま岩船神林をどっちか順番、先々は我々が決める。というのはどうですか。四つ目が本当全く新しいただしその新しいといったものも、最初のアンケートで出たものを参考に、決めさせてもらう。我々が勝手に新しいものを作るんじゃなくて、1回目のアンケートでたアンケートのものを使わせてもらいます。そこに例えば例として穂波とか何か出すだったら出してもいいんですけど、でもそれをそのまま出したものをそうなるわけじゃなくて、決めるのは、我々で方向だけ聞いたらどうでしょうか。

副委員長 それだと、岩船神林っていうその今の校名をという選択肢はなくした方が良い。数で神林が多い。

推進委員 これは案なんですけど、家族に話あってそれで例えばなんですけども。その第1、一番多いところと2番目のところをもとに我々でどうするっていうふうにやってもいいのかなと思うんです。だからそのアンケートを取るときに、決して多数決ではない方向性の意見を聞きたいだけなので、一番多いところをそのまま使うわけではありません。多い方の例えば2つとか、を参考にしながら最終的にはここで決めさせていただきますみたいなことをきちんと書いておけば、説明責任を果たせるのかなと思うんですけどね。誤解も与えると思いますし

推進委員 神林の人が多いいので、神林は多い。アンケートの中で、もう全部わかってる数だけだけ多いかはわからない。

推進委員 それこそだから守秘義務になってくると思うんですけど、だから余計なことを

我々が地域で我々が動き出したからベースになるし、はい。例えばさっき言ったように第1コースが本当は一番多くて、けど例えば第2番目に多かったコースを我々が話し合った結果、やっぱ2番目の多いところで行こうとなったときに、本当に一番多かったはずだと言っちゃうと、それが地域に漏れて何やってんだってなるから、そこはもう本当に守秘義務だと思います。

推進委員 はい。だからそれを抜きにして、うん。だから旧校名の方がいいのかっていうのは・・・

推進委員 それが一番だとしても、2番目にきたところも我々含めて考えて、最終的にどうするっていうことを考えたら、2番目の多いとこでいいんじゃないかなれば、それはそれでいいんじゃないですかね。

委員長 注意書きがあった場合、子供たちにはこだわりや中学校を出した方が確かに説明責任は・・・

推進委員 説明責任だけきちんと果たせばいいと思うんですね。

委員長 あとは、そのあと現在何が一番多かったかと。当然皆さん知らないわけですので、そのまま持って一旦で子供たちに、いわゆる次にちょっとどれを落とすかって話なんですけども、このアンケートを取るということはまずよろしいですか。

推進委員 確認ですが、さっきの副委員長さんの話だと、子供たちにそれを聞きたいなという話なので、この間のような、要するに地区に全部対象でなくて、もう子供に絞るってことで、

副委員長 そうですね。

推進委員 そうすると学校経由で、聞き取りをする。

副委員長 何かいい方法ありますか。

推進委員 聞き取りをする。さっきの話で、子供にね、それ配ると。親の意見かって話もありましたよね。

副委員長 はい。もうそれ仕方ないですね。保護者は必ず関わるので、そこはもう保護者は知ってもらってもいいし、

推進委員 学校経由の学校で回答してもらうのであれば、親は関わらなくて済む

副委員長 ただこれ大人も入ってもらわないとなんかちょっと偏った感じで、全くアンケートの質としては低いものになるかなっていうちょっと心配があるので、ある程度大人もそれも含めて、新しい学校の方がいいよねとか

推進委員 そうすると小学校の中学年ぐらいまで、

副委員長 そこはちょっと皆さんにちょっと聞きたいと思います。私もその対象がないので、先ほど言った通り4年生でっていうところがいいのか、1年生までかって言っても、結局1年生が決めるわけじゃないですし、ただ子供たちの中としてはそうい

う、方向性を我々に今一度きちんとしていただきたいと。それをもって我々も、こっちやっぱ残さないといけない名前なんだねとか、新しい方向に走らせてあげた方がいいんだねと我々が決めればいいのかと思いますね。

推進委員 そうすると設問も小学生向けと中学生向け作らないと理解できない

副委員長 そうなんですよ。

推進委員 難しい中学生なんか理由付けられるのは非常に難しいのです

副委員長 中学生いますかね。

推進委員 アンケート作るのもある中学年向けとか高学年向けっていうのは、別にそう分けないとなかなかね、伝わらないので、その辺は配慮してね。やってあげたほうがいい。

推進委員 親展じゃないけど、それを一緒に答えてくれっていう話にしたほうがいいんだよね。それで5年、4年5年なってるなど、わざわざね。だったらそれ階層ごとにね、アンケートの内容を変えるってそんなことしなくても、同じ内容でいいので親と一緒に考えてるそれでいいんじゃないのだからかと思って。どうしようと思った案だよ。じゃなかったらって相談して親と一緒に考える人ってだめなのかね。

副委員長 それでもいいのかもしれないですね。

推進委員 もう子供の意見が無くなるということもまた内容の経緯のようなことも確かに理解できるかっていうか、それなりに5、6年生ぐらいになればある程度皆さん理解できるから、別にそれなりの丁寧な文章を書いてくれれば、選んでくると思うよ。だから階層的に分ける必要ねえから、5年6年生以上中学生は普通のアンケート1枚で丁寧に子供たちもわかりやすく書いてあれば、それでいいのではないかな。分けるとなると、事務局が手間だ。

委員長 意見なければ、子供たちが家庭も含めてですけど、聞いてそれを集約して、対象については今456年生。

副委員長 それも改めて絞ればいいですね。

委員長 ただ子供達に聞くっていうところは、よろしいですかね

推進委員 はい。

委員長 意見を聞くということですので、また皆さんで責任を持って決める。数ではなくて出たものの中から、責任取らして決めるというところは、よろしいでしょうか。はい。ありがとうございます。次に聞く対象の話と学年の話と、今、先ほど下ろす候補の確認。下ろす学年ということで、中学生は現在の統合には関係無いので、小学生を対象にということであれば、4年生から6年生っていう形の案が出ていますがけれども、その1年生も広げるかどうかという皆さんご意見もある中で、対象についてご意見ありましたら、意見お願いいたします。

推進委員 その前にいいですか。この前の校名募集小学校にお願いしています。校長先生方

をお願いしています。やっぱり低学年は無理だということでそれは確かメールでうちの人をからめた形で、挙げた形になっていると思います。そこはなんか小学校にお任せしたところもあるので、分かりませんが、やっぱ456だと聞き方によってはできるのかと思います。ネットで調べたところ加茂で5つの違う学校が一緒になる校名を5個の名前を挙げてこれです。こういう意味でつけました。どれがいいですかというのが小学生向けにアンケートをしてきてたと思って、取り方は別としても、小学生に取るという事は、4年生以上だったら、大丈夫だと思います。

推進委員 学校、小学校の方は、おそらく学校の先生から Chromebook に授業中なんですか。授業中の間に送られてきて、授業中みんなと話しながら、アンケートにもし質問があれば、分からないことがあれば、先生に質問しながら答えたとは、娘から聞いていたので、456であればそういうやり方で、全然問題なしです。親なしでも先生、もしわからないことがあれば、意味がわからないことがあれば、先生教えてくれたと思います。

委員長 対象456以外に、ご意見ありますでしょうか。

推進委員 私も多分456が妥当かなと思いますので、子供の意見を聞くんだ。そうやって、Chromebook で学校の方で子供単位やったほうが、大人が関与しないほうが、子供の生の意見で、親が多分はまっちゃうと、例えばですけどこれ、神林で良いからこれにすればと、話したら先生や親の意見が入ってきたりするんで、それでも多分家庭によっては、あると思うので、子供の意見を100%聞くのであれば、子供同士で話す分にはそれは子供の意見なので、それは良いとして、学校の方で、子供同士でそういう話す時間があるのかわかんないですけど、そういうふうにして、子供だけでやった方がいいのかなと思います。その方が大人も子供の意見100%が良いかなとおもいました。

委員長 対象については、今ちょっと議論2つになってしまったんで、対象については4年から6年ということで、まず皆さんに特に異論はないですね。

一同 はい。

委員長 ありがとうございます。4年から6年対象ということで、意見を聞いてみたい。この今出た方法 tetoru で集めれば中学校の校長先生も近くに入ってますよ。こういう Chromebook で聞くってことも岩船小学校では、そういう形を取っていたことですが、tetoru でやれば、保護者のスマホしかできませんので、もう保護者の話も入ってきますが、tetoru で入れて、保護者として話し合ってるやり方、もう1つは学校で子供たちに授業中で、時間を作っていただくという形2つありましたが、方向についてご意見がありましたらお願いします。

推進委員 やはり最初の話だと子供の意見を聞きたいというのが一番だと思うんで、tetoru だとやっぱり当然親が入ってますし、それでもいいという意見でしたし、子供意見ということでは、学校で意見をもらってもいいと思います。

推進委員 基本的には賛成なんですけど、ここの委員会でやってくださいって言ったら小学校の先生方は快くやってくれるんでしょうか。そこがなんかちょっと気になって、何か学校によって対応が違ったらやっぱり悪いので、全部の学校が同じように対応して下さるってことじゃないと、ちょっとだめかなって思ったので、ちょっと質問というか聞かせてもらったんですけど、

推進委員 校名募集に関しては、私の方で、お願いして3小学校で合わせてくださいと言って、小学校にその学年のレベルに合わせてやってもらったので、全然違うってことは多分ないと思います。

推進委員 もう1回質問いいですか。

推進委員 それで、子供たちのためなので、どのぐらいの説明をきちんとするかと。はい、やりなさいみたいな感じはちょっとなかなか厳しいのだと思うので、

推進委員 その文面の理由っていうかね、そうですねそこにやっぱり表現する。

推進委員 ちょっとマニュアルっていうか、3人がこれを読んでやってくださいとか、そういうのをやっていけばいいんじゃないかと思いますが、校長先生方は多分、協力してくださると思います。

委員長 マニュアルとか事務局とこれからさっき候補の理由の説明がすごく大事だと。その資料もあれば、学校の方でお願いするほうが皆さんの中でよろしいかというところで、ここについては今後、目標、結果として、みなさんよろしいでしょうかね。はい。先ほど委員から出ましたもう1つの案としてそれを中心として揉んでいきたいと思います。1点目が既存の中学校名、岩船・神林理由もつけて、みなさんから理由を肉付けして、あと先ほど出た岩船神林中の一文字を入れて混ぜる2つの中学校を並列して、穂波中学校が一番多かったので新しいイメージの校名の4番目の案で出ていますが、候補とする中でこういった方がいいとか、何かこういうやり方がいいとかっていうの、もしご意見があれば

推進委員 全く新しいのは何がいい。名前入ると、これがいいとかなければ、何も入れないでやった方が、全く新しい校名にするとかそれだけでどうだろうか

委員長 最初の案と同じでしょ。候補が絞られてきた中で、例えば新しく地名はどうですかっていう形でこしらえてくれれば

推進委員 その新しい4番目の、全く新しい名前にするという。例を穂波とするというその例を外して全く新しい校名にすると、それだけでいいじゃないかな。

委員長 それが何だかわかんないと、皆さん

推進委員 じゃあこれを例で全部入れればいいんじゃないですか。新しい名前全部例えば俺的にはさ、波より海の方がいいと思います。穂波じゃなくて、例えば海星だとかさ。だからそれを全部新しいキーワードでそれ全部例えば、つばさ中学校とかにこういうのが出ましたよっていうふうな形で例とすればそれで、どうかと思うんですけどさ。

委員長 わかりました。そこも含めてちょっと皆さん

推進委員 だから出すんだったら全部出して、出さないんだったら、俺は新しい校名というのが、そう思いますので、新しい名前と言うのは、子供らがこっちの方がいいよって名前はこっちで決めるよ、名前はそういう形で背負うつもりで

- 推進委員 そういう方向性だけ。やっぱ新しい例として多分何個かあった方がいいと思うんですよ。こういう例が出ていました。こういったものの中から我々の方で責任持って新しい方向で決めていきますよっていう方向性だけわかればいいと。穂波にするとか、海星にする
- 委員長 ただ、なんで例を挙げないと
- 推進委員 1個だけだと確かに誘導する感じが強いので、できるだけそこは・・・
- 委員長 今日皆さんが責任の話もあるんですけど、特にこの今123については、具体的にどうか、はっきりしてるんですけども、これ4番目の、案については出し方ってというのは非常にそれ1個という、皆さんがこういったご意見あれば、1つの中で決まってるっていうのがある。これ1つの考え方。複数でやってもらって、いわゆるこういうご意見ありますけども、ただ、この地域のところからいきましようか、地域をイメージしたものというところについて、1つ1つがいいのか例として方向性という形の出し方についてどうでしょうか。ご意見いただきたいと思いますが。
- 推進委員 今委員が言った通りで私もいいと思うんですけど。ただ、アンケートで新しい名前にその中からやりましょうという、もしアンケートが多かった場合私もやっぱり、それがそこでなったら、この委員会で責任を持って、名前をつけるということで、よろしいですか。
- 推進委員 まだアンケートある長いものっていうのがわからなきやいけないし
- 推進委員 1回目とったアンケートの中から絞り込んでいくってことですよ。
- 委員長 この地域のイメージについて、新しい名称だということで、例として、いくつか挙げた方が皆さん、ある意味イメージというか、声が入ってるなっていう認知とかあんまりいいじゃないかといったところも、出てくるかもしれませんけども、そんな1つ2つでも今委員がおっしゃったここに上がってる候補を上がってるっていうのも
- 推進委員 極端ですけどさ。
- 委員長 その他にも言ったらあげる形になってしまうので、ある程度絞った形で1つ2つなのか、ここにあるのかといったところかと思いますが、皆さん。例のあげ方。
- 副委員長 穂波中学校、緑ヶ丘中学校、海星中学校などみたいな、そういう感じでいいんじゃないでしょうかね。
- 推進委員 委員の皆さん話したんですね。
- 推進委員 今の、海星ですかね。地域にイメージしたものっていうのは、4番目は今までは1つある。
- 推進委員 今の海も星も地域のイメージですね。例としては良いかと思います。

推進委員 質問なんですけど、これ全く新しい名前出た場合に、この新しいキーワードを使用したものは見ないんですか。地域のイメージでもこっちも見るんだったら例にそっちの方を1つぐらい入れておいたほうがいいんじゃないかなと思ったんですけど、どのような考えでしょうか。こっちの本当のこの地域のイメージじゃイメージじゃないっていう。言い方でいいのかわかんないけど、全く何か、新しいのも例には入れといたほうがいいのかとちょっと思っただけです。

推進委員 真ん中に蒼岳です。真ん中に、6番目に、これ全く新しい何かですね、

推進委員 従来の地域移行にこだわらず

推進委員 様々例なんていうか

委員長 新しい教育について方向性がバラバラだと非常に方向性がなくなったらまとめる非常に難しいんじゃないかというご提案だったかと思うんですけど。

推進委員 だって子供が、それ選んだのであればそれにするしかないですけどね。

委員長 ただ、結構皆さんで委員会のこの資格を持った方の集計からみて、それも含めていって、出していいかと思うんですが、この地域イメージと新しいキーワードは違うカテゴリーで選んでるので、5つ目の方向として本当に出さなきゃいけないかと思うんですけど。地域をイメージしたキーワードと今3つ挙がってますんで。はい。私記憶になればこの中に、こんな感じですか、になるのかもしれませんが、方向性になります。に議論になってしまいます。ここまで含めてっていう、五つになってくるかな。

推進委員 いや、それならそれでいいんですけど私確認したかったのは、新しいものっていうところにこの全く新しい名前って言うと、この新しいキーワードを使用したものが入ってるのかどうかを聞いたかただけなので、別に入れて欲しいとか、次の入れちゃ駄目とかそういうわけじゃなくて、どっちも入ってたのかなっていう確認だけ。そうすると、子供たちが全く新しい名前ですって言っても、こっちのキーワードの方は選ばないってことですよ。今さ、さっきの観点からいきますと、そうでしょ。4つに絞るといことですよという確認です。

委員長 今、出ていた意見で新しいキーワードのところは何か例を挙げたほうがいいのか、6番目、ちょっとこういうのが入ってるところだったんですけども。

推進委員 すいません皆さん一生懸命お考えいただいてたところだと。重複する票数というのと票数の絶対数がないっていうところからこう広げていかないほうがいいところもあるのかなと思うんですけども、もしご賛同いただけるのであれば、もう4番までの選択肢の中で、5番目の新しいキーワードっていうのを、この場で選択肢から外すというのもありかなと思いました。

推進委員 私も今の意見に賛成で、なるべく絞り込んでいきたいのに、新しいキーワード、確かに皆さん意見としてはそんなにないので、ここで割り切ってしまうと、そのより絞りやすくなっていう気はしました。

委員長 今の5番目の意見についてはちょっと絞り込むと意見がありました。1から4の中

でもちょっと議論されてますから、カットとさせていただいて、さっき4番の話をさせていただきましたが、このような表現で、地域別の名称で、123についてのま
ず出し方、表現はその理由というところ、皆さんご意見いただきたいんですが、これは皆さんもともと地名もあっても誰もがあるといったところもあると思いますが、この2つ、どちらかというこの2つの名前がありますよっていうところも考えて、ここでお聞きしたい。

副委員長 私1番いるかなっていうのがちょっと。私個人的な意見なんです。だったらなんか3番の方が、お互いに尊重しちゃってるっていうちょっと長いですけど、中学校の名前は神林岩船や岩船神林とかっていう方がまだいいかなと。この神林の方がいいっていう絶対数が増えちゃうと、だけど、かつ、こっちのお話の通り、一番2番目っていったところの一番確定したようなところで話進んじゃうかなっていうのは、ちょっと懸念ではあったんですけど皆さんどう思いますか。

推進委員 この理由つけばいいんですか。要するに中学校のその理由ってこう書いてある神林中学校の理由

推進委員 小学生ですからね。

推進委員 そりゃそうだ。

推進委員 頭の数から言えば岩船地域とこの地域の

推進委員 わからないです小学校。

推進委員 神林中学校は両方。

推進委員 だから倍ぐらい違う。

推進委員 今の6年生ですと48人と24人です。でも神林が一番少ないのでうちが岩船が一番多い。来年3月にそこはまだ、今、新2、3年生でいうと、もっとこっちの方が多くてこっちの方が少ない。

委員長 ご意見はありますけれども、考え方を各種胸にあって、その部分もそうになったら確かに聞いてみるというところも1つ考えあると思いますが、皆さん、どうでしょうか。

推進委員 はい。あんまりいっぱい今度ここで絞っていくと今度なんか聞く意味が、1番既存の人、2番3番は私たちも、4観点で見てきたので、2番3番は例えば、別にしなくてもいいのかなと感じた小さな並列でも1文字でも、そこを合体させてもいいのかなんて思いつつも別々でもOK。4番は地域のイメージ。5番のところは今ちょっとカットしましょうということだったので、そういった形で、4観点のところを、そういうね、この2つの観点を今2つに分けているような状況なので、それは、分けてもいいしそこから2、3合体でも123候補ぐらいでもどうかと思ったんですが。

推進委員 私は2と3分けた理由なんですけど、もし皆さん一緒にしてしまうと、今度我々話し合っ
て決める時に今後どうやって、どっちどうすんだ並列にするのか、一応1文字とかで1文字使うものは組み合わせが、いっぱいあるので、そこから全部やっ

ていくとなると結構な時間が無い中やっていくの大変だなと思ったので、方向性聞くだけだったら本当にそのまま丸ごと2つ使うのがいいのか、1文字だけでいいよっていうのは、方向性だけ我々が決めやすいのが入ったらです。こっちの都合ですねどっちでもいいですね。

推進委員　それでは4つその観点を聞くというところのご意見が多かったですけども特に異論がなければ、この考え方で例を挙げた形になりますけども、小学校4、5、6年生に学校の単位です、授業中に聞いていただくと。やり方ですってところで、1度意見聞く場を設け、またそれを集めた後に、今度我々責任を持ってこうなったら、決めていくと。ところで皆さん議論と思いますが、この決め方と、何かご意見とかありましたらお願いします。

推進委員　何回も聞くようで申し訳ないんですけど、確認なんですけど1番は神林と岩船を選ばせるんですね、どちらかの名前にしてくださいって回答です。選ばせる選ばない一応選ばせないですよ。そうすれば別に絶対数がどうか関係ないんですよ。別にどっちか神林の人が、とか関係ないですよ。であれば別にその心配はないのかな。今だから何かどっちかに選ばせるのかなって言えばちょっと違いますよね。そのどちらかにして欲しい。言っているだけの。どっちにして欲しいじゃなくてどっちか

委員長　これについては、この形でちょっと理由のところも含めてですね、1回案を作っていて、委員の皆さんに見せていただいた方が出す前にね、この表現とか或いは

市教委　そのパターンが決めてもらったので、この4つのパターンのうちどのパターンがいいですかというのを選んでもらう。この例えば理由は何なんですっていう記載もあるし、そういったものに、

推進委員　それは子供では無理でしょう。

委員長　理由を聞かないで、そのままじゃ選択肢だけですから、さっきの考え方も聞きたいって話。子供たちもそういう思いを聞くって話だったと思いますけど。

推進委員　私も選んでもらうだけだと思ったんですけど。

推進委員　それは、学校の名前を決めようとしています、あなたはこういう、案がありますが、1234のどれが、あなたの考えに合っていますかみたいな聞き方で一番、神林・岩船のどちらかにするっていうやつを選ばなくてもやっぱり一番上ですか。だからその子供が俺はもう岩船神林なんていないという考えの子が、地域のイメージですってところ4番を選んでくれたよって。ただそれをインプットしてもらえばいいんじゃないですかと思うんですけど、どうですかね。

委員長　それは選択肢の方にはそれか。

推進委員　担任の先生は大変ですよ。

推進委員　その質問は至ってシンプルにし、それに対しても先ほどもあったようなその説明でしょうから、例示の仕方であるとか、そういったところについてやっぱりこう確認してもらおうようなところが、アンケートそのものをシンプルにしてどれがいい

ですか。

推進委員 選択をする、使用する名前だけ。

委員長 理由がこちらに出て、確かに案として、わかりやすい表現になるかとはおもいますが。設問アンケート用紙になるかも知れないですけどこれについては、よろしいでしょうか。

委員長 はい、ありがとうございます。

委員長 次、(2)今後のスケジュールであります。先ほどが今回の文言がアンケートの方も入ってますので、スケジュール的に次回は第5回となっておりますけども、改めて事務局からお願いします。

市教委 準備日程案をご覧いただきたいと思うんですけども。先月の会議の際に、先月の会議に示した準備日程がちょっとうまくない部分があったということで、会議に当たり、修正を加えてきました。庶務部会ちょっと名称がおかしかったのでPTA部会で作らせていただきましたし、教育課程部会というのも元の形で、これらをこの3部会を二校会議でくるといふうに、作り直してきました。それで、このスケジュールでは、12月以降、12月の委員会は、校名のアンケート。子供に落としてやる考えで、子供に落とすそのアンケートを皆さんに見てもらうために、さらに今後のスケジュール的なこともお示ししたいと思います。早ければ12月中に、次の委員会を持ちたいと思っております。二校会議の表を作ってから、岩船中学校側から部会の方も進んで、こういうふうな形になるよって資料いただいたものをここに含めて作ったつもりではあるんですけども。ちょっと補足あればお願いします。

推進委員 私PTA部会の方だけで、お願いします。第一回の部会を開かせていただく予定でありまして、情報交換や顔合わせをやっていくことの確認をしていきたいと思っております。PTA部会、右から3番目の下から逆算して今の下3文字ぐらいでしょうかね。令和9年の4月ここで両校の現学校の最後のPTA総会が行われることになりましたけれども、当時の1年生、2年生の保護者対象に新設統合校のPTAの規約役員選出方法等について提案をさせていただいて、承認をいただくとそれに従ってその次9年度1年間をかけて役員を決めてというようなことをして行って10年4月に備えるというふうにしていきたいと考えています。ですので、令和8年度中には、こちらのPTA部会については基本的には終了できるようにしていきたいというふうに思っています。また、左側の統合推進委員会の方に例えば制服や体操着ということで書いていただいているところもありますけれども、こちらの実働の部分についてPTA部会の方で、させていただこうと考えています。つまりたたき台をつくらせていただいたものを統合推進委員会の方にお諮りして、ご承認をいただくというのは、ことを考えているところでもあります。これも最終的に決定につきましては8年度内で、行うというふうにして参りたいというふうに考えているところでもあります。なお、修学旅行の関係、そして卒業アルバム関係の日程というのは挟まれておりますけれども、現実には、これはPTA部会で行うべき業務ではありません。PTAの方々のご協力をその都度都度でいただきながら行っていくということで、ただ、統合を考える上では、どうしても入れておいたほうがいいスケジュールかなというふうに思っているのを挙げさせていただいていることでもありますので、よろしく願いいたします。以上です。

推進委員 私の方から二校会議第1回ですね、11月6日、神林中学校ここですけど、スケジ

ルールと組織を説明して、子供たちから見たアンケートも参考にしながら先生方にどんな生徒を育てたいという目指す生徒像と教育目標にこんな言葉を入れたらどうかというような、そういうアイデアを出してもらうような会議をしました。一応スケジュールとしてはここに書いてある通り、1月の統合推進委員会に教育目標と目指す生徒像が、提案できるようにという形で、それから絞り込みたいと思います。あと、評価部会さんを開いて、その教材選定、2月にいわゆる8年度入学生生教材選定を両校で絞り込むようなその前段の打ち合わせをさせてもらいました。以上です。

委員長 皆さんのスケジュールについてご質問をありますでしょうか。次回の話も出ましたけども、アンケート出てからとそれについては、改めて皆さんご承知おきください。なければ、最後にその他でございますが何か皆さんの方でご意見ご質問があればお願いします。

推進委員 資料の件は、今日は揃っててありがたかったですけど、事前資料はもう一切しないんですっていうのは事前の資料配布。もう、やめたんですか。

市教委 紙で配布のことですか。

推進委員 携帯で見るわけですけど、あんな小さい画面では見れない。文章の間も分からないくらいだ。紙で事前配布して欲しいと思うので、この学校の生徒方のアンケートにしても郵送でいいから紙で送ってほしい。できれば面倒かもしれないですけど。

推進委員 日程の決まったという連絡は携帯で受けても構いませんが、やはり資料的なものは紙で欲しいです。見えないもの、こんな小さな画面で見るとは、何度も言いますが、こういうことは分からないのでしょうか。

市教委 ご意見いただきましたので、次回からは紙で事前配布するというので

推進委員 お願いします。

推進委員 事前に配るものを持ち寄ってここに参加するというので。

推進委員 わかりました。

委員長 その他ありましたら、どうですか。

推進委員 朝日の小学校で、校章や募集についての情報が今日入ってきましたが、あれはとても良いことだとおもいます。公募を通じて参加することが重要です。教育委員会の事務局の方も、この点についてはおわかりだと思います。

委員長 なければ本日議題は以上となります。大変ありがとうございました。最後に閉会の挨拶副委員長にさせていただきます。よろしくお願いします。

副委員長 皆さんお疲れ様でした。それでは、第4回統合推進委員会これにて閉会させていただきます。お疲れさまでした。ありがとうございました。